

(2) 現地調査

① 調査内容

夢洲及び舞洲における動物の状況を把握するため、現地調査を実施した。

調査の実施にあたっては、調査方法・時期について有識者にヒアリングを実施し助言を得て、鳥類について、繁殖期の調査時期を前期・後期の2回に分けて6回/年の調査とした。

調査概要は表 5. 10. 3、調査方法の詳細は表 5. 10. 4、重要な種の生態等に関する参考文献は表 5. 10. 5、現地調査地点の位置は図 5. 10. 2 に示すとおりである。

表 5. 10. 3 調査概要（陸域動物）

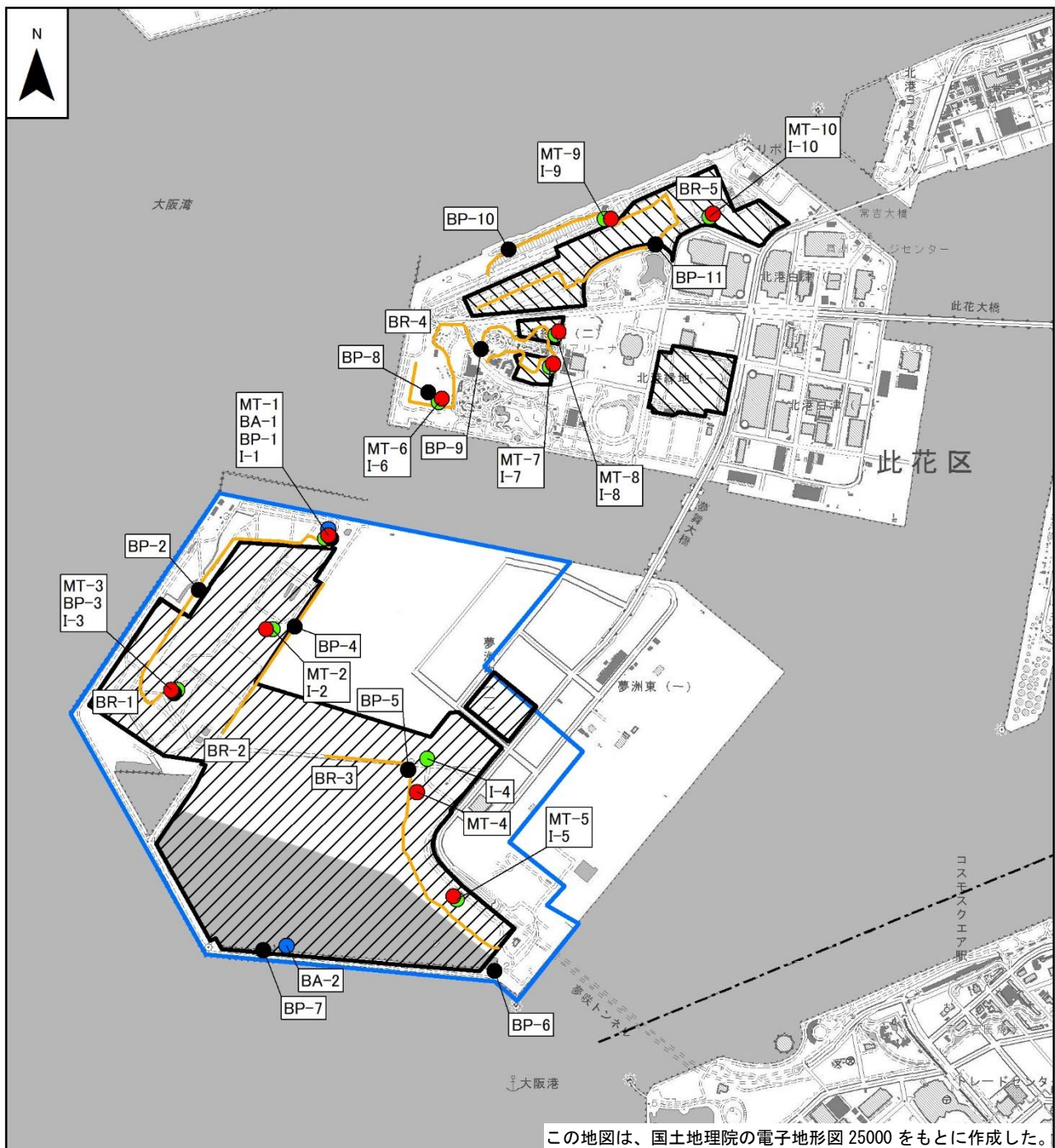
調査項目	調査範囲	調査対象期間		調査方法
哺乳類	夢洲・舞洲	冬季	令和2年2月3日～5日	任意調査 トラップ調査
		春季	令和2年5月11日～12日、14日～15日	
		夏季	令和2年6月12日、7月27日～31日	
		秋季	令和2年9月23日～25日、29日～30日	
		冬季	令和3年1月18日	
鳥類	夢洲・舞洲	冬季	令和2年2月3日～4日	ルートセンサス調査 定点調査 任意調査
		春季	令和2年4月20日～21日	
		繁殖前期	令和2年5月12日、14日	
		繁殖後期	令和2年6月22日～23日、25日～26日	
		夏季	令和2年7月30日～31日	
		秋季	令和2年9月23日～24日	
		冬季	令和3年1月18日～19日	
爬虫類 両生類	夢洲・舞洲	春季	令和2年5月14日～15日	任意調査
		夏季	令和2年6月12日、7月30日～31日	
		秋季	令和2年9月29日～30日	
昆虫類	夢洲・舞洲	春季	令和2年5月11日～12日、14日～15日	任意調査 ベイトトラップ調査 ライトトラップ調査
		夏季	令和2年6月12日、7月27日～31日	
		秋季	令和2年9月23日～25日	
底生生物	夢洲	冬季	令和2年2月3日	定性採取 定量採取
		春季	令和2年5月14日	
		夏季	令和2年7月17日	
		秋季	令和2年9月28日	

表 5.10.4 調査方法詳細

調査項目	調査方法	内容
哺乳類	任意調査	調査範囲を任意に踏査し、哺乳類のフィールドサイン(足跡、糞、死体、食痕等の生息痕跡)及び個体の直接観察により種名を記録した。
	トラップ調査	シャーマントラップ(小型哺乳類を生け捕りにする折りたたみ式の捕獲罠)を用いて、ネズミ類等を捕獲し、種名や形態等を記録した。トラップは1地点あたり20個を一晩設置した。餌はピーナッツを用いた。 夢洲の5地点、舞洲の5地点の計10地点(MT-1～10)で実施した。
鳥類	ルートセンサス調査	1.5～2km/h程度の速度であらかじめ設定したルート上を歩き、倍率8～10倍程度の双眼鏡を用いて、目視及び鳴き声等により確認した種名と個体数を記録した。調査の範囲はルートの両側50m(片側25m)程度の範囲とした。 夢洲の3ルート、舞洲の2ルートの計5ルート(BR-1～5)で実施した。
	定点調査	調査地点において30分程度の間に、倍率20～50倍程度の望遠鏡や倍率8～10倍程度の双眼鏡を用いて、目視及び鳴き声等により確認した鳥類の種名と個体数を記録した。 夢洲7地点、舞洲4地点の計11地点(BP-1～11)で実施した。
	任意調査	調査範囲内を任意に踏査し、倍率8～10倍程度の双眼鏡を用いて、目視及び鳴き声等により確認した鳥類の種名と個体数を記録した。
爬虫類 両生類	任意調査	調査範囲内を任意に踏査し、個体の直接観察により種名を記録した。
昆虫類	任意調査	調査範囲内を任意に踏査し、個体の直接観察の他、捕虫網等による捕獲により、種名を記録した。
	ライトトラップ調査	調査範囲内の代表的な植生を考慮し、紫外線灯(ブラックライト蛍光灯によるBOX法)を用いてトラップに入った昆虫類を採取した。トラップは1地点あたり1台を一晩設置した。 夢洲5地点(I-1～5)、舞洲5地点(I-6～10)の計10地点で実施した。
	ベイトトラップ調査	地上を徘徊する昆虫類を対象に、代表的な植生を考慮した地点を選定し、餌(コーラと食酢の混合物)を入れたプラスチックコップを埋め、一晩放置した後に回収した。トラップは1地点あたり10個設置した。 夢洲5地点(I-1～5)、舞洲5地点(I-6～10)の計10地点で実施した。
底生生物	定量採取	水辺環境の調査地点において、水生昆虫や底生生物を25cm四方のコドラート付きサーバーネットで採取し、持ち帰って種名と個体数、湿重量を記録した。 夢洲の2地点(BA-1、2)で実施した。
	定性採取	水辺環境の調査地点において、水生昆虫や底生生物をタモ網やサーバーネットで採取し、持ち帰って種名と個体数を記録した。 夢洲の2地点(BA-1、2)で実施した。

表 5.10.5 重要な種の生態等に関する参考文献

項目	参考文献
陸域動物	「フィールドベスト図鑑 日本の哺乳類」(学習研究社、平成 14 年) 「大阪府野生生物目録」(大阪府、平成 12 年) 「大阪府における保護上重要な野生生物－大阪府レッドデータブック－」(大阪府、平成 12 年) 「原色日本野鳥生態図鑑<陸鳥編>」(保育社、平成 7 年) 「決定版 日本の野鳥 650」(平凡社、平成 26 年) 「原色爬虫類・両生類検索図鑑」(北隆館、平成 23 年) 「京都府レッドデータブック 2015」(京都府、平成 27 年) 「レッドデータブック 2014 日本の絶滅のおそれのある野生生物 5 昆虫」(環境省、平成 26 年) 「ネイチャーガイド日本の水生昆虫」(文一総合出版、令和 2 年) 「国土技術政策総合研究所資料 No. 906 道路環境影響の技術手法「13. 動物、植物、生態系」における環境保全のための取り組みに関する事例集 (平成 27 年度版)」(国土交通省国土技術政策総合研究所、平成 28 年)



凡 例

-  会場予定地
-  任意調査範囲
-  (仮称)舞洲駐車場予定地
- 市区界
-  哺乳類トラップ調査地点 (MT-1～10)
-  鳥類定点調査地点 (BP-1～11)
-  昆虫類ライト・ベイトトラップ調査地点 (I-1～10)
-  底生生物調査地点 (BA-1、2)
-  鳥類ルートセンサス調査ルート (BR-1～5)

1:25,000

0 0.5 1 km

図 5.10.2 現況調査地点（陸域動植物）

② 調査結果

a. 哺乳類相の状況

哺乳類相の調査結果は、表 5.10.6 に示すとおりである。

現地調査で生息が確認された哺乳類は 2 目 3 科 4 種であった。夢洲及び舞洲のいずれも 2 目 3 科 3 種が確認された。

表 5.10.6 哺乳類相の調査結果

目 名	科 名	種 名	確認状況								
			夢洲					舞洲			
			冬季	春季	夏季	秋季	冬季	冬季	春季	夏季	秋季
ネズミ（齧歯目）	ネズミ	カヤネズミ							○	○	○
		ハツカネズミ	○								
	ヌートリア	ヌートリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ネコ（食肉目）	イタチ	イタチ属	○	○					○		
合計			2 目 3 科 3 種					2 目 3 科 3 種			
			2 目 3 科 4 種								

注：1. 分類及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 2 年度生物リスト）」（国土交通省、令和 2 年）に準拠した。

2. イタチ属はイタチ、チョウセンイタチのいずれか、あるいは両種の可能性がある。

b. 鳥類相の状況

鳥類相の調査結果は、表 5. 10. 7(1)～(3)に示すとおりである。

現地調査で生息が確認された鳥類は 12 目 35 科 114 種であった。夢洲では 12 目 33 科 100 種、舞洲では 10 目 29 科 66 種が確認された。

表 5. 10. 7(1) 鳥類相の調査結果

目名	科名	種名	渡り区分	確認状況													
				夢洲						舞洲							
				冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季	冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季
カモ	カモ	ツクシガモ	冬鳥	○							○						
		オカヨシガモ	冬鳥	○	○	○	○			○	○						○
		ヨシガモ	冬鳥						○								
		ヒドリガモ	冬鳥	○	○	○			○	○	○						○
		マガモ	冬鳥	○	○		○			○							
		カルガモ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○
		ハシビロガモ	冬鳥	○	○	○		○	○	○	○						○
		オナガガモ	冬鳥	○	○				○	○							
		シマアジ	旅鳥		○	○											
		コガモ	冬鳥	○	○	○	○		○	○		○					○
		ホシハジロ	冬鳥	○	○	○	○	○		○	○	○	○				○
		キンクロハジロ	冬鳥	○	○	○			○	○							○
		スズガモ	冬鳥	○	○	○	○	○	○								○
		ホオジロガモ	冬鳥	○							○						
		ウミアイサ	冬鳥	○													
カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	留鳥	○	○	○	○	○	○								
		カンムリカイツブリ	冬鳥	○						○	○						○
		ハジロカイツブリ	冬鳥	○					○	○							○
ハト	ハト	キジハト	留鳥	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	
カツオドリ	ウ	カワウ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
ペリカン	サギ	アオサギ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ダイサギ	留鳥					○	○			○	○	○	○	○	
		コサギ	留鳥							○							
	トキ	ヘラサギ	迷鳥	○						○							
ツル	クイナ	ヒクイナ	夏鳥					○									
		バン	留鳥				○	○	○								
		オオバン	留鳥	○	○	○		○	○	○	○						○
チドリ	チドリ	タゲリ	冬鳥								○						
		ケリ	留鳥				○							○			
		ムナグロ	旅鳥						○								
		ダイゼン	旅鳥						○								
		コチドリ	夏鳥		○	○	○	○	○					○			
		シロチドリ	留鳥		○	○	○	○	○	○							
		メダイチドリ	旅鳥		○	○		○									
		セイタカシギ	セイタカシギ	旅鳥		○			○	○							
	シギ	ヤマシギ	冬鳥								○						
		タシギ	冬鳥	○		○				○	○						
		オオソリハシシギ	旅鳥			○											
		チュウシャクシギ	旅鳥		○	○			○			○	○				
		ツルシギ	旅鳥						○								
		コアオアシシギ	旅鳥						○								
		アオアシシギ	旅鳥		○	○		○	○								
		タカブシギ	旅鳥						○								
		キアシシギ	旅鳥		○	○		○	○				○				
		ソリハシシギ	旅鳥		○	○		○	○								

- 注：1. 分類及び配列は、「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会、平成24年）に準拠した。
2. 科、亜科、属、上種としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。
3. 渡り区分は「大阪府鳥類目録2016」（日本野鳥の会大阪支部、平成28年）に準拠した。

表 5. 10. 7 (2) 鳥類相の調査結果

目名	科名	種名	渡り区分	確認状況														
				夢洲							舞洲							
				冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季	冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季	
チドリ	シギ	イソシギ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	
		キョウジョシギ	旅鳥		○	○							○					
		ミユビシギ	旅鳥						○									
		トウネン	旅鳥		○	○		○	○									
		オジロトウネン	旅鳥		○				○	○								
		ヒバリシギ	旅鳥						○									
		ウズラシギ	旅鳥		○	○		○										
		サルハマシギ	旅鳥						○									
		ハマシギ	冬鳥	○	○	○		○	○	○								
		キリアイ	旅鳥						○									
		エリマキシギ	旅鳥						○									
		アカエリヒレアシシギ	旅鳥					○										
	ツバメチドリ	ツバメチドリ	旅鳥一部夏鳥				○	○										
	カモメ	ユリカモメ	冬鳥一部留鳥		○			○										
		ズグロカモメ	冬鳥								○							
		ウミネコ	留鳥					○	○						○	○		
		セグロカモメ	冬鳥	○	○				○	○	○	○				○	○	
		コアジサシ	夏鳥		○	○	○				○	○	○					
		クロハラアジサシ	旅鳥						○									
	タカ	ミサゴ	ミサゴ	留鳥	○	○	○		○	○	○	○	○			○		
タカ		トビ	留鳥	○	○	○		○	○	○	○	○		○		○	○	
		チュウヒ	冬鳥	○	○					○								
		ハイタカ	冬鳥	○							○							
フクロウ	フクロウ	コミミズク	冬鳥		○													
ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	留鳥						○									
ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	冬鳥	○			○	○	○	○				○	○			
		ハヤブサ	留鳥	○	○					○								
スズメ	モズ	モズ	留鳥	○			○				○	○	○		○		○	○
	カラス	ハシボソガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		ハシブトガラス	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	ツリスガラ	ツリスガラ	冬鳥	○	○													
	シジュウカラ	シジュウカラ	留鳥											○			○	
	ヒバリ	ヒバリ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	ツバメ	ショウドウツバメ	旅鳥						○									
		ツバメ	夏鳥		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	
	ヒヨドリ	ヒヨドリ	留鳥	○		○				○	○	○	○	○	○	○	○	
	ウグイス	ウグイス	留鳥	○							○	○					○	
		ヤブサメ	夏鳥									○				○		
	ムシクイ	オオムシクイ	旅鳥						○								○	
		エゾムシクイ	旅鳥									○	○					
		センダイムシクイ	夏鳥										○					
		メボソムシクイ上種	旅鳥														○	
	メジロ	メジロ	留鳥								○	○	○			○	○	
	ヨシキリ	オオヨシキリ	夏鳥		○	○	○	○	○				○					
	セッカ	セッカ	留鳥	○	○	○	○	○	○			○	○	○				
	ムクドリ	ムクドリ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コムクドリ	旅鳥													○	○	
	ヒタキ	シロハラ	冬鳥								○							○
		ツグミ	冬鳥	○	○						○	○	○	○				○
		ジョウビタキ	冬鳥	○							○	○						○
		ノビタキ	旅鳥						○									
		イソヒヨドリ	留鳥	○					○	○					○	○	○	
		エゾビタキ	旅鳥														○	
		コサメビタキ	旅鳥一部夏鳥									○					○	

注：1. 分類及び配列は、「日本鳥類目録 改訂第7版」（日本鳥学会、平成24年）に準拠した。

2. 科、亜科、属、上種としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。

3. 渡り区分は「大阪府鳥類目録2016」（日本野鳥の会大阪支部 平成28年）に準拠した。

表 5. 10. 7(3) 鳥類相の調査結果

目名	科名	種名	渡り区分	確認状況														
				夢洲							舞洲							
				冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季	冬季	春季	繁殖 前期	繁殖 後期	夏季	秋季	冬季	
スズメ	ヒタキ	キビタキ	夏鳥											○			○	
		オオルリ	夏鳥										○				○	
	スズメ	スズメ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	セキレイ	キセキレイ	留鳥						○								○	
		ハクセキレイ	留鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		タヒバリ	冬鳥	○	○	○				○	○	○						○
	アトリ	アトリ	冬鳥															○
		カワラヒワ	留鳥一部冬鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○
		ベニマシコ	冬鳥	○							○							
		イカル	留鳥一部冬鳥									○						
	ホオジロ	ホオジロ	留鳥	○						○	○	○						○
		ホオアカ	冬鳥	○														
		アオジ	冬鳥	○	○					○	○	○						○
		オオジュリン	冬鳥	○						○								○
ハト	ハト	カワラハト	移入種	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
スズメ	ムクドリ	ハッカチョウ	移入種			○												
合計				12 目 33 科 100 種							10 目 29 科 66 種							
				12 目 35 科 114 種														

- 注：1. 分類及び配列は、「日本鳥類目録 改訂第 7 版」（日本鳥学会、平成 24 年）に準拠した。
 2. 科、亜科、属、上種としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。
 3. 渡り区分は「大阪府鳥類目録 2016」（日本野鳥の会大阪支部、平成 28 年）に準拠した。

c. 爬虫類・両生類相の状況

爬虫類、両生類相の調査結果は、表 5. 10. 8 及び表 5. 10. 9 に示すとおりである。

現地調査で生息が確認された爬虫類は 2 目 5 科 5 種であった。夢洲では 2 目 3 科 3 種、舞洲では 2 目 4 科 4 種が確認された。

現地調査で生息が確認された両生類は 1 目 3 科 3 種であった。夢洲では 1 目 3 科 3 種、舞洲では 1 目 2 科 2 種が確認された。

表 5. 10. 8 爬虫類相の調査結果

目 名	科 名	種 名	確認状況					
			夢洲			舞洲		
			春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
カメ 有鱗	ヌマガメ	ミシシippアカミミガメ	○	○	○		○	○
	ヤモリ	ニホンヤモリ				○		○
	トカゲ	ニホントカゲ	○			○	○	
	カナヘビ	ニホンカナヘビ				○	○	○
	ナミヘビ	シマヘビ	○					
合計			2 目 3 科 3 種			2 目 4 科 4 種		
			2 目 5 科 5 種					

注：分類及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 2 年度生物リスト）」（国土交通省、令和 2 年）に準拠した。

表 5. 10. 9 両生類相の調査結果

目 名	科 名	種 名	確認状況					
			夢洲			舞洲		
			春季	夏季	秋季	春季	夏季	秋季
無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	○					
	アカガエル	トノサマガエル		○			○	○
	ヌマガエル	ヌマガエル	○	○	○	○		
合計			1 目 3 科 3 種			1 目 2 科 2 種		
			1 目 3 科 3 種					

注：分類及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 2 年度生物リスト）」（国土交通省、令和 2 年）に準拠した。

d. 昆虫類相の状況

昆虫類相の調査結果概要は、表 5. 10. 10 に示すとおりである。昆虫類は確認種数が多いため、目別、確認位置別（夢洲及び舞洲）に確認された科数及び種数を整理した。

現地調査で生息が確認された昆虫類は 180 科 591 種であった。夢洲では 141 科 385 種、舞洲では 150 科 427 種が確認された。

表 5. 10. 10 昆虫類相の調査結果概要

目名	夢洲		舞洲		合計		主な現地調査確認種
	科数	種数	科数	種数	科数	種数	
トビムシ目	1	1	1	1	2	2	ツチトビムシ科、アヤトビムシ科
トンボ目	5	13	4	12	5	18	ギンヤンマ、シオカラトンボ、ウスバキトンボ
ゴキブリ目	2	2	2	2	2	3	ヤマトゴキブリ、モリチャバネゴキブリ
カマキリ目	1	1	1	2	1	3	ハラビロカマキリ、オオカマキリ
シロアリ目	－	－	1	1	1	1	ヤマトシロアリ
ハサミムシ目	2	3	1	3	2	4	ハマベハサミムシ、オオハサミムシ
バッタ目	9	22	10	24	10	28	クビキリギス、ケラ、トノサマバッタ
チャタテムシ目	－	－	3	3	3	3	<i>Valenzuela</i> 属、 <i>Ptycta</i> 属
カメムシ目	27	63	26	71	33	98	セジロウンカ、アブラゼミ、アオクサカメムシ
アミメカゲロウ目	2	5	2	4	3	6	ヤマトクサカゲロウ、スズキクサカゲロウ
トビケラ目	6	6	2	2	7	7	ムネカクトビケラ、マツイヒメトビケラ、ニンギョウトビケラ
チョウ目	15	46	16	46	18	73	チャノコカクモンハマキ、ツバメシジミ、スジキリヨトウ
ハエ目	27	67	31	79	35	105	ウスイロユスリカ、ミナミヒメヒラタアブ、ミドリキンバエ
コウチュウ目	30	118	37	130	41	176	セアカヒラタゴミムシ、ニセヒメユミセミゾハネカクシ、ツシマヒメサビキコリ
ハチ目	14	38	13	47	17	64	トビイロシワアリ、フタモンアシナガバチ本土亜種、シロスジヒゲナガハナバチ
合計	141 科 385 種		150 科 427 種		180 科 591 種		－

- 注：1. 分類及び配列は、「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和 2 年度生物リスト）」（国土交通省、令和 2 年）に準拠した。
2. 主な現地調査確認種は、個体数の多いものや調査範囲の代表的な環境に生息する種を記載した。
3. 「－」は、確認されなかったことを示す。
4. 「～属」、「～科」については、同属の確認例がある場合には種数に計上していない。

e. 底生生物

底生生物相の調査結果は、表 5.10.11(1)、(2)に示すとおりである。

現地調査で生息が確認された底生生物は、夢洲で7網14目33科65種であった。

表 5.10.11(1) 底生生物相の調査結果

綱名	目名	科名	和名	夢洲			
				冬季	春季	夏季	秋季
腹足	汎有肺	モノアラガイ	ハブタエモノアラガイ				○
		サカマキガイ	サカマキガイ	○		○	○
ゴカイ	サシバゴカイ	ゴカイ	オイワケゴカイ	○			○
ミミズ	イトミミズ	ミズミミズ	ウチワミミズ		○	○	○
			ミズミミズ	○			
			ミズミミズ亜科	○	○		
			イトミミズ亜科				○
ヒル	吻蛭	ヒラタビル	ヌマビル	○		○	○
顎脚	フジツボ	フジツボ	ヨーロッパフジツボ	○	○	○	○
軟甲	タナイス	タナイス	キスイタナイス			○	
	ヨコエビ	ハマトビムシ	ヒメハマトビムシ	○			○
			ニホンヒメハマトビムシ				○
		キタヨコエビ	ボシエットトゲオヨコエビ	○	○	○	○
	エビ	テナガエビ	ユビナガスジエビ	○	○	○	○
		Panopeidae	ミナトオウギガニ				○
		ベンケイガニ	クロベンケイガニ		○	○	
			カクベンケイガニ			○	○
		モクズガニ	Hemigrapsus 属			○	
昆虫	カゲロウ (蜉蝣)	コカゲロウ	Cloeon 属			○	○
	トンボ (蜻蛉)	イトトンボ	ホソミイトトンボ				○
			Ischnura 属	○	○	○	○
			Paracercion 属	○	○	○	○
		ヤンマ	ギンヤンマ		○	○	○
			Anax 属	○	○	○	○
		サナエトンボ	タイワンウチワヤンマ			○	○
		トンボ	ショウジョウトンボ	○	○		○
			コフキトンボ	○			○
			シオカラトンボ	○	○	○	○
			チョウトンボ		○		
			タイリクアカネ		○		
			Sympetrum 属			○	
	カメムシ (半翅)	アメンボ	アメンボ			○	○
		イトアメンボ	ヒメイトアメンボ			○	
		ミズカメムシ	ムモンミズカメムシ				○
			ヘリグロミズカメムシ				○
		カタビロアメンボ	ホルバートケシカタビロアメンボ			○	
			Microvelia 属		○		
		ミズムシ (昆)	クロチビミズムシ	○			○
			Micronecta 属	○		○	○
			ホテイコミズムシ			○	○

注：1. 分類及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和2年度生物リスト）」（国土交通省、令和2年）に準拠した。

2. 科、亜科、属としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。

表 5. 10. 11 (2) 底生生物相の調査結果

綱名	目名	科名	和名	夢洲			
				冬季	春季	夏季	秋季
昆虫	カメムシ（半翅）	ミズムシ（昆）	アサヒナコミズムシ	○			○
			ハラグロコミズムシ	○			
			エサキコミズムシ		○	○	
			コミズムシ			○	
			<i>Sigara</i> 属			○	○
			ミズムシ科（昆）		○		○
		コオイムシ	コオイムシ			○	
			<i>Appasus</i> 属		○	○	
		マツモムシ	コマツモムシ	○	○	○	○
		マルミズムシ	マルミズムシ		○	○	○
	トビケラ（毛翅）	ムネカクトビケラ	<i>Ecnomus</i> 属	○			
	ハエ（双翅）	ユスリカ	<i>Ablabesmyia</i> 属	○	○		○
			<i>Chironomus</i> 属	○	○	○	○
			<i>Dicrotendipes</i> 属	○			
			<i>Heterotrissocladius</i> 属	○			
			<i>Polypedilum</i> 属	○	○		○
			<i>Procladius</i> 属		○		
			<i>Psectrocladius</i> 属		○		○
			<i>Tanytarsus</i> 属		○	○	○
			ユスリカ科				○
		ハナアブ	ハナアブ科				○
		ミギワバエ	ミギワバエ科		○		
	コウチュウ（鞘翅）	ゲンゴロウ	チャイロチビゲンゴロウ		○		○
			ハイイロゲンゴロウ		○		
			チビゲンゴロウ	○			○
			ケシゲンゴロウ		○	○	○
			<i>Hyphydrus</i> 属			○	
		ガムシ	トゲバゴマフガムシ			○	○
			ニッポントゲバゴマフガムシ		○		
			<i>Berosus</i> 属				○
			セマルガムシ				○
			チビヒラタガムシ		○		○
			キイロヒラタガムシ		○		○
			ルイスヒラタガムシ		○		○
			ヒメガムシ		○		○
			ガムシ科			○	
		ナガドロムシ	タマガワナガドロムシ		○		
合計				7 綱 14 目 33 科 65 種			

注：1. 分類及び配列は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト（令和2年度生物リスト）」（国土交通省、令和2年）に準拠した。

2. 科、亜科、属としたもののうち、他種と重複する可能性があるものについては、種数の合計から除外した。

③ 重要な種の確認状況

a. 選定根拠

調査地域に生息する陸域動物について、表 5.10.12 の選定根拠に基づき、学術上または希少性の観点から重要な種を抽出した。

表 5.10.12 重要な種の選定根拠

区分	重要種選定基準	カテゴリー
①	文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号） 大阪府文化財保護条例（昭和 44 年大阪府条例第 5 号） 大阪市文化財保護条例（平成 11 年大阪市条例第 5 号）	国特天：国指定特別天然記念物
		国天：国指定天然記念物
		府天：大阪府指定天然記念物
		市天：大阪市指定天然記念物
②	絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律 （平成 4 年法律第 75 号）	国内：国内希少野生動植物種
		特別：特別国内希少種動植物種
		国際：国際希少野生動植物種
		緊急：緊急指定種
③	「環境省レッドリスト 2020」（環境省、令和 2 年）	EX：絶滅
		CR：絶滅危惧ⅠA 類
		EN：絶滅危惧ⅠB 類
		CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類
		VU：絶滅危惧Ⅱ類
		NT：準絶滅危惧
		DD：情報不足
		LP：絶滅のおそれのある地域個体群
④	「近畿地区・鳥類レッドデータブックー絶滅危惧種判定システムの開発ー」（京都大学学術出版会、平成 14 年） ※近畿地方全体におけるカテゴリーを示す。	繁殖：繁殖個体群
		越冬：越冬個体群
		通過：通過個体群
		夏季：夏季滞在個体群
		1：危機的絶滅危惧
		2：絶滅危惧
		3：準絶滅危惧
		4：要注目
⑤	「大阪府レッドリスト 2014」（大阪府、平成 26 年）	EX：絶滅
		CR+EN：絶滅危惧Ⅰ類
		VU：絶滅危惧Ⅱ類
		NT：準絶滅危惧
		DD：情報不足

b. 既存資料調査

既存資料調査による重要な種は表 5. 10. 13 のとおり、哺乳類 2 目 2 科 3 種、鳥類 14 目 32 科 107 種、爬虫類 1 目 2 科 2 種、両生類 2 目 2 科 3 種、昆虫類 4 目 11 科 18 種が確認された。

表 5. 10. 13 重要な動物（既存資料調査）

項目	確認種数	種名
哺乳類	2 目 2 科 3 種	ハタネズミ、カヤネズミ、イタチ
鳥類	14 目 32 科 107 種	ツクシガモ、ヨシガモ、アメリカヒドリ、マガモ、ホオジロガモ、ミコアイサ、ウミアイサ、カンムリカイツブリ、アカオネツタイチョウ、ウミウ、ヨシゴイ、ササゴイ、アマサギ、チュウサギ、ヘラサギ、クロツラヘラサギ、クイナ、ヒクイナ、オオバン、ホトトギス、タゲリ、ケリ、ムナグロ、ダイゼン、イカルチドリ、コチドリ、シロチドリ、メダイチドリ、オオメダイチドリ、セイタカシギ、タシギ、オグロシギ、オオソリハシシギ、チュウシャクシギ、ダイシャクシギ、ホウロクシギ、ツルシギ、アカアシシギ、コアオアシシギ、アオアシシギ、カラフトアオアシシギ、クサシギ、タカブシギ、キアシシギ、ソリハシシギ、イソシギ、キョウジョシギ、オバシギ、コオバシギ、ミユビシギ、トウネン、オジロトウネン、ヒバリシギ、ウズラシギ、サルハマシギ、ハマシギ、ヘラシギ、キリアイ、エリマキシギ、タマシギ、ツバメチドリ、ズグロカモメ、ウミネコ、シロカモメ、オオセグロカモメ、コアジサシ、ベニアジサシ、ハジロクロハラアジサシ、ミサゴ、チュウヒ、ハイイロチュウヒ、ハイタカ、オオタカ、サシバ、ノスリ、トラフズク、コミミズク、カワセミ、アリスイ、アオゲラ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、サンコウチョウ、キクイタダキ、ツリスガラ、ヒバリ、コシアカツバメ、オオムシクイ、メボソムシクイ上種、エゾムシクイ、センダイムシクイ、オオヨシキリ、セッカ、クロツグミ、コルリ、ノビタキ、イソヒヨドリ、エゾビタキ、サメビタキ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、ハクセキレイ、ベニマシコ、シメ、アオジ、オオジュリン
爬虫類	1 目 2 科 2 種	アカウミガメ、ニホンイシガメ
両生類	2 目 2 科 3 種	カスミサンショウウオ、ブチサンショウウオ、ツチガエル
昆虫類	4 目 11 科 18 種	コバネアオイトトンボ、ベニイトトンボ、ヒヌマイトトンボ、アオヤンマ、ナツアカネ、アキアカネ、ナニワトンボ、ノシメトンボ、コヒゲジロハサミムシ、オオチャバネセセリ、ブチヒゲヤナギドクガ、オオヒョウタンゴミムシ、ヨドシロヘリハンミョウ、ゲンゴロウ、シャープゲンゴロウモドキ、マルガタゲンゴロウ、ケシゲンゴロウ、ジュウクホシテントウ

注：メボソムシクイ上種にはメボソムシクイ、オオムシクイ、コムシクイの3種が該当するが、重要な種として指定されているのはオオムシクイのみである。

c. 現地調査

現地調査で確認された重要な種の確認状況に記載している確認位置を示す用語の定義は、表 5. 10. 14、確認状況の概要は表 5. 10. 15(1)～(7)に示すとおりである。

現地調査において生息が確認された重要な種は、哺乳類 1 種、鳥類 66 種、両生類 1 種、昆虫類 16 種の合計 84 種であり、このうち会場予定地、(仮称) 舞洲駐車場予定地のいずれかまたは両方で確認された種は、哺乳類 1 種、鳥類 52 種、昆虫類 8 種の合計 61 種であった。なお、重要な種保護の観点から確認位置図は掲載しないこととした。

表 5. 10. 14 確認位置を示す用語の定義

用語	定 義
草地	路傍・空地雑草群落や公園（樹林地以外）等、草本類が優占する環境
樹林	舞洲の植栽樹林群等、木本類が優占する環境
裸地	造成地等、植生の乏しい環境（砂礫地を含む）
人工構造物	建物、道路、堤防等の構造物
開放水面	抽水植物や沈水植物等による植生が成立していない大規模な水域・水面
水際部	大規模な開放水面の周囲に分布する、水域と陸域の境界線及びその付近
湿地	抽水植物や沈水植物等が生育している、比較的小規模な水域および湿生植物群落が成立している範囲
水たまり	降雨後に一時的に出現する小規模な水域
湛水域	夢洲南側のウォーターワールドとなるエリアに存在する水域

表 5. 10. 15(1) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
				夢洲		舞洲		
		全国	近畿 大阪	会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
哺乳類	カヤネズミ		NT	—	—	○	○	【舞洲】春季に（仮称）舞洲駐車場予定地内外の3か所で球巣、1か所で捕獲により1個体が確認された。夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地の1か所で球巣が確認された。秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地の2か所で球巣が確認された。
鳥類	ツクシガモ	VU	越冬:2	○	○	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の開放水面及び水際部で221例、会場予定地外で6例が確認された。
	ヨシガモ		越冬:3	—	○	—	—	【夢洲】秋季に夢洲南側の海上で5例が確認された。
	マガモ		繁殖:3	○	○	—	—	【夢洲】冬季、春季及び繁殖後期に確認され、会場予定地の主に開放水面及び水際部で26例、会場予定地外で5例が確認された。
	シマアジ		通過:3	○	—	—	—	【夢洲】春季及び繁殖前期に会場予定地の水際部で5例が確認された。
	ホオジロガモ		越冬:3	—	○	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地外で2例が確認された。
	ウミアイサ		越冬:3 NT	○	○	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の開放水面で2例、会場予定地外で1例、夢洲北側の海上で5例が確認された。
	カンムリカイツブリ		繁殖:3	—	○	—	○	【夢洲】冬季に夢洲北側と西側、南側のいずれも海上で3例が確認された。 【舞洲】冬季に舞洲北側の海上で4例が確認された。
	ヘラサギ	DD		○	—	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の開放水面及び水際部で10例が確認された。
	ヒクイナ	NT	繁殖:2 VU	—	○	—	—	【夢洲】夏季に会場予定地外で1例が確認された。
	オオバン		繁殖:3	○	○	—	○	【夢洲】全季に確認され、会場予定地の開放水面及び水際部で43例、会場予定地外の開放水面及び水際部で16例、夢洲の西側及び北側の海上で3例が確認された。 【舞洲】冬季及び春季に確認され、（仮称）舞洲駐車場予定地外の水際部で14例、舞洲北側の海岸沿いで49例が確認された。
	タゲリ		越冬:3 NT	—	○	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地外で1例が確認された。

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。

2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。

3. 「会場予定地外」及び「（仮称）舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(2) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
				夢洲		舞洲		
		全国	近畿 大阪	会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	ケリ	DD	NT	○	—	○	—	【夢洲】繁殖後期に会場予定地の草地で3例が確認された。 【舞洲】繁殖後期に（仮称）舞洲駐車場予定地の裸地で3例が確認された。
	ムナグロ		通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で4例、会場予定地外で4例が確認された。
	ダイゼン		通過:2 VU	○	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で2例、会場予定地外で1例が確認された。
	コチドリ		繁殖:3 NT	○	○	—	○	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地内外の主に水際部や裸地で75例が確認された。 【舞洲】繁殖後期に（仮称）舞洲駐車場予定地外で1例が確認された。
	シロチドリ	VU	繁殖:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】春季から冬季にかけて会場予定地の主に水際部で80例、会場予定地外で18例が確認された。
	メダイチドリ	国際	通過:3 VU	○	—	—	—	【夢洲】春季から夏季にかけて会場予定地の水際部で31例が確認された。
	セイタカシギ	VU		○	○	—	—	【夢洲】春季、夏季及び秋季に確認され、会場予定地の水際部で7例、会場予定地外で5例が確認された。
	ヤマシギ		越冬:3	—	—	—	○	【舞洲】冬季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で1例が確認された。
	タシギ		越冬:3 NT	○	○	—	—	【夢洲】冬季、繁殖前期及び秋季に、会場予定地の水際部で3例、会場予定地外で5例が確認された。
	オオソリハシシギ	VU	通過:3 VU	○	—	—	—	【夢洲】繁殖前期に会場予定地の水際部で1例が確認された。
	チュウシャクシギ		通過:3 NT	○	—	—	○	【夢洲】春季、繁殖前期及び秋季に会場予定地の水際部で16例が確認された。 【舞洲】春季及び繁殖前期に舞洲北側の海岸沿いで13例が確認された。
	ツルシギ	VU	通過:3 VU	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で2例が確認された。
コアオアシシギ		通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で3例が確認された。	

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。
 2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。
 3. 「会場予定地外」及び「（仮称）舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(3) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
				夢洲		舞洲		
		全国	近畿 大阪	会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	アオアシシギ		通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地の水際部で 19 例、会場予定地外で 6 例が確認された。
	タカブシギ	VU	通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で 5 例、会場予定地外で 1 例が確認された。
	キアシシギ		通過:3 NT	○	○	—	○	【夢洲】春季から秋季にかけて、会場予定地の水際部で 54 例、会場予定地外で 3 例が確認された。 【舞洲】繁殖前期に舞洲北側の海岸沿いで 1 例が確認された。
	ソリハシシギ		通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地の水際部で 16 例、会場予定外で 1 例が確認された。
	イソシギ		繁殖:2 NT	○	○	—	○	【夢洲】調査期間をとおして確認され、会場予定地内外の主に水際部で 28 例が確認された。 【舞洲】冬季から秋季にかけて確認され、舞洲北側の海岸沿い等で 22 例が確認された。
	キョウジョシギ		通過:3 VU	○	—	—	○	【夢洲】春季及び繁殖前期に会場予定地の水際部で 12 例が確認された。 【舞洲】春季に舞洲北側の海岸で 1 例が確認された。
	ミユビシギ		通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で 4 例が確認された。
	トウネン		通過:3 NT	○	○	—	—	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地内外の水際部で 168 例が確認された。
	オジロトウネン		通過:2 NT	○	○	—	—	【夢洲】春季、秋季、冬季に会場予定地の水際部で 2 例、会場予定地外で 3 例が確認された。
	ヒバリシギ		通過:2 VU	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外で 3 例が確認された。
	ウズラシギ		通過:3 VU	○	○	—	—	【夢洲】春季から夏季にかけて会場予定地内外の水際部で 4 例が確認された。
	サルハマシギ	国際	通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で 1 例が確認された。
	ハマシギ	NT	越冬:3	○	○	—	—	【夢洲】冬季から秋季にかけて、会場予定地内外の水際部で 366 例が確認された。
	キリアイ		通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の水際部で 1 例が確認された。

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。

2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。

3. 「会場予定地外」及び「(仮称) 舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(4) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
				夢洲		舞洲		
		全国	近畿 大阪	会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	エリマキシギ		通過:2 NT	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外で1例が確認された。
	ツバメチドリ	VU	通過:2 CR+EN	○	○	—	—	【夢洲】繁殖後期及び夏季に会場予定地の草地上空で2例、会場予定地外で6例が確認された。
	ズグロカモメ	VU	通過:2 NT	○	—	—	—	【夢洲】冬季に会場予定地の水際部で1例が確認された。
	ウミネコ		繁殖: 要注	○	○	—	○	【夢洲】夏季及び秋季に会場予定地の開放水面で2例、周辺海域、会場予定地外及び舞洲北側の堤防で85例が確認された。 【舞洲】舞洲北側及び西側の海上で5例が確認された。
	コアジサシ	VU	繁殖:2 CR+EN	○	○	—	○	【夢洲】春季から繁殖後期にかけて会場予定地内外の主に裸地（砂礫地）で繁殖に係わる鳴き交わし、求愛給餌、抱卵が確認され、夢洲周辺の海上も含めて延べ456例が確認された。 【舞洲】春季から繁殖後期にかけて舞洲周辺の海上を中心に79例が確認された。
	ミサゴ	NT	繁殖:2	○	○	○	○	【夢洲】冬季から秋季にかけて会場予定地内外の人工構造物や水際部及び周辺の海上で50例が確認された。 【舞洲】冬季、春季及び秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地内外及び周辺の海上で7例が確認された。
	チュウヒ	国内 EN	繁殖:1 CR+EN	○	○	—	—	【夢洲】冬季及び春季に会場予定地内外の草地や開放水面上空で8例が確認された。
	ハイタカ	NT	繁殖: 要注	○	○	○	—	【夢洲】冬季に会場予定地内外の草地上空で1例が確認された。 【舞洲】冬季に（仮称）舞洲駐車場予定地内の樹林上空で1例が確認された。
	コミミズク		越冬:2 VU	○	—	—	—	【夢洲】春季に会場予定地の草地上空で1例が確認された。
	カワセミ		繁殖:3	—	○	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地外で1例が確認された。
	チョウゲンボウ		越冬:3	○	○	○	○	【夢洲】冬季及び繁殖後期から秋季にかけて会場予定地内外の主に裸地や人工構造物上空で15例が確認された。 【舞洲】繁殖後期及び夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地内外の草地上空で3例が確認された。
	ハヤブサ	国内 VU	繁殖:3	○	○	—	—	【夢洲】冬季及び春季に会場予定地内外の主に裸地上空で5例が確認された。

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。

2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。

3. 「会場予定地外」及び「（仮称）舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(5) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
				夢洲		舞洲		
		全国	近畿 大阪	会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	ヒバリ		NT	○	○	○	○	【夢洲】調査期間をとおして会場予定地内外の主に裸地や草地で 258 例が確認された。 【舞洲】調査期間をとおして（仮称）舞洲駐車場予定地内外の主に裸地や草地で 27 例が確認された。
	オオムシクイ	DD		○	－	－	○	【夢洲】秋季に会場予定地の草地で 1 例が確認された。 【舞洲】秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
	メボソムシクイ上種	DD		－	－	－	○	【舞洲】秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
	エゾムシクイ		繁殖：3	－	－	－	○	【舞洲】春季及び繁殖前期に（仮称）舞洲駐車場予定地外で 2 例が確認された。
	センダイムシクイ		繁殖：3 NT	－	－	－	○	【舞洲】繁殖前期に（仮称）舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
	オオヨシキリ		繁殖：3 NT	○	○	○	－	【夢洲】春季から秋季にかけて会場予定地の草地で 1 例、会場予定地外の草地で 8 例が確認された。 【舞洲】繁殖前期に（仮称）舞洲駐車場予定地の草地で 1 例が確認された。
	セッカ		NT	○	○	○	○	【夢洲】調査期間をとおして会場予定地内外の草地で 143 例が確認された。 【舞洲】春季から繁殖後期にかけて（仮称）舞洲駐車場予定地内外の主に草地で 10 例が確認された。
	コムクドリ		通過：3	－	－	○	○	【舞洲】夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地の樹林で 2 例、秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
	ノビタキ		繁殖：3	○	○	－	－	【夢洲】秋季に会場予定地の草地で 2 例、会場予定地外で 1 例が確認された。
	エゾビタキ		通過：3	－	－	－	○	【舞洲】秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で 1 個体が確認された。
	コサメビタキ		VU	－	－	○	○	【舞洲】春季及び秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地内外の樹林で 3 例が確認された。
	キビタキ		繁殖：3	－	－	－	○	【舞洲】繁殖前期及び秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で 5 例が確認された。
	オオルリ		繁殖：3	－	－	○	○	【舞洲】春季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で 1 例、秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地の樹林で 1 例が確認された。
	ホオアカ		繁殖：3 NT	○	－	－	－	【夢洲】冬季に会場予定地の草地で 3 例が確認された。

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。

2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。

3. 「会場予定地外」及び「（仮称）舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

4. 「メボソムシクイ上種」にはメボソムシクイ、オオムシクイ、コムシクイの 3 種が該当するが、重要な種として指定されているのはオオムシクイのみであるため、オオムシクイの選定基準を適用した。

表 5. 10. 15(6) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
				夢洲		舞洲		
		全国	近畿 大阪	会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
鳥類	アオジ		繁殖:3	○	○	○	○	【夢洲】冬季及び春季に会場予定地内外の草地で 15 例が確認された。 【舞洲】冬季及び春季に（仮称）舞洲駐車場予定地内外の草地で 35 例が確認された。
	オオジュリン		NT	○	○	○	○	【夢洲】冬季に会場予定地内外の草地や湿地で 168 例が確認された。 【舞洲】冬季に（仮称）舞洲駐車場予定地の草地で 1 例、（仮称）舞洲駐車場予定地外で 1 例が確認された。
両生類	トノサマガエル	NT	NT	－	○	－	○	【夢洲】夏季に会場予定地外で成体 1 例が確認された。 【舞洲】夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で幼体 1 例、秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で幼体 1 例が確認された。
昆虫類	ホソミイトトンボ		NT	－	○	－	－	【夢洲】秋季に 1 例が会場予定地外で確認された。
	コフキトンボ		NT	－	○	－	－	【夢洲】昆虫類調査では夏季に 2 例、底生生物調査では冬季と秋季に 5 例がいずれも会場予定地外で確認された。
	アキアカネ		NT	－	○	－	－	【夢洲】秋季に会場予定地外で 1 例が確認された。
	マイコアカネ		NT	－	－	○	－	【舞洲】秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地の草地で 1 例が確認された。
	ムモンミズカメムシ		NT	－	○	－	－	【夢洲】秋季に会場予定地外の湿地で 4 例が確認された。
	コオイムシ	NT	NT	○	○	○	－	【夢洲】昆虫類調査では春季～秋季に会場予定地内外の水際部、湿地及び水たまりで 13 例が確認され、底生生物調査では夏季に会場予定地外で 1 例が確認された。 【舞洲】夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地の水たまりで 1 例が確認された。
	ケシゲンゴロウ	NT	NT	○	○	－	－	【夢洲】昆虫類調査では春季～秋季に会場予定地内外の湿地や水たまりで 8 例、底生生物調査では春季及び夏季に会場予定地外で 21 例が確認された。
	コガムシ	DD	NT	○	○	○	－	【夢洲】夏季と秋季に会場予定地内外の湿地や水たまりで 6 個体が確認された。 【舞洲】夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地の水たまりで 1 例が確認された。
	コガタガムシ	VU	CR+EN	－	○	－	－	【夢洲】秋季に会場予定地外の湿地で 1 個体が確認された。

注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。

2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。

3. 「会場予定地外」及び「（仮称）舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。

表 5. 10. 15(7) 重要な種の確認状況の概要

分類	種名	選定根拠		確認位置				確認状況
				夢洲		舞洲		
		全国	近畿 大阪	会場 予定地	会場 予定地外	駐車場 予定地	駐車場 予定地外	
昆虫類	チャイロムナボソコメツキ		NT	○	—	—	—	【夢洲】夏季に会場予定地の草地で1例が確認された。
	ツシマヒメサビキコリ		NT	○	○	○	○	【夢洲】春季～秋季に会場予定地内外の草地や裸地で326例が確認された。 【舞洲】春季～秋季に（仮称）舞洲駐車場予定地内外の草地や裸地で146例が確認された。
	カワイヒラアシコメツキ		DD	—	—	○	—	【舞洲】夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地の草地で1例が確認された。
	ジュウクホシテントウ		NT	—	○	—	—	【夢洲】春季と秋季に会場予定地外で9例が確認された。
	モンズズメバチ		DD	—	—	—	○	【舞洲】夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で2例が確認された。
	アオスジクモバチ		DD	—	—	—	○	【舞洲】夏季に（仮称）舞洲駐車場予定地外で1例が確認された。
	キバラハキリバチ	NT		○	—	—	—	【夢洲】秋季に会場予定地の草地で1例が確認された。

- 注：1. 選定根拠の記載は表 5. 10. 12 の選定基準に示すとおりである。
 2. 「○」は確認されたこと「—」は確認されなかったことを示す。
 3. 「会場予定地外」及び「（仮称）舞洲駐車場予定地外」は、それぞれ夢洲近傍海域、舞洲近傍海域も含む。